

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年2月12日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1971 URL <http://www.chuo-build.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 健
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 広斗 (TEL) 03-3661-9631
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,193	15.7	△93	—	△96	—	△104	—
2020年3月期第3四半期	5,353	21.1	61	420.8	55	155.4	45	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第3四半期	△44.36		—					
2020年3月期第3四半期	19.29		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,606	3,376	39.2
2020年3月期	8,507	3,539	41.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,376百万円 2020年3月期 3,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の配当予想については未定とする。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,306	1.0	△340	—	△341	—	△308	—	△130.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」を参照。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	2,378,740株	2020年3月期	2,378,740株
2021年3月期3Q	27,146株	2020年3月期	26,963株
2021年3月期3Q	2,351,661株	2020年3月期3Q	2,351,921株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が抑制され停滞する中、極めて厳しい状況で推移した。経済活動の再開が段階的に進められたことに伴い足下の景気動向には持ち直しの動きが見られるものの、回復の足取りは当面緩やかになると見込まれ、先行きが不透明な状況が続いている。

当社の主な関連業界である建設及び住宅業界においては、公共投資は底堅く推移しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大の再燃も懸念される中、工事の一時休止や新規現場の着工延期、一時的な需要の減少など、先行きは不透明で楽観できない状況にある。

このような状況の中、当第3四半期累計期間の業績は、住宅鉄骨部門の製造が順調に推移した結果、売上高6,193百万円（前年同四半期比15.7%増）と増収となった。損益面においては、仮設機材事業部門の不振により、営業損失93百万円（前年同四半期は営業利益61百万円）、経常損失96百万円（前年同四半期は経常利益55百万円）、四半期純損失104百万円（前年同四半期は四半期純利益45百万円）となった。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりである。

（仮設機材販売）

社会インフラ整備等による建設需要は持続しているものの、景気の先行きが不透明な状況の中、仮設機材リース業者の購買意欲は減退傾向にあり、売上高は758百万円（前年同四半期比41.9%減）と減収となった。セグメント損失は115百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となった。

（仮設機材賃貸）

経済活動の停滞により新規現場の着工が延期になるなど、軽仮設機材が低稼働で推移した結果、売上高は1,350百万円（前年同四半期比26.6%減）となった。セグメント損失は156百万円（前年同四半期はセグメント利益56百万円）となった。

（住宅鉄骨事業）

住宅鉄骨用部材の製造受託は新工場の生産設備及び生産要員の増強により、売上高は4,084百万円（前年同四半期比84.9%増）と増収となった。利益面では、工場の稼働が順調に推移したことにより、セグメント利益185百万円（前年同四半期比635.2%増）となった。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期末の総資産は8,606百万円となり、前事業年度末に比べ98百万円増加した。流動資産が3,502百万円（前事業年度末比87百万円減）、固定資産は5,103百万円（前事業年度末比186百万円増）となった。総資産の主な増加要因は、売掛金が238百万円減少した一方、現金及び預金168百万円、貸与資産123百万円、原材料及び貯蔵品が121百万円増加したことなどによるものである。

（負債）

負債合計は5,230百万円となり、前事業年度末に比べ262百万円増加した。流動負債が3,800百万円（前事業年度末比763百万円増）、固定負債が1,429百万円（前事業年度末比500百万円減）となった。負債の主な増加要因は、長期借入金454百万円減少した一方、短期借入金500百万円、買掛金218百万円、支払手形が132百万円増加したことなどによるものである。

（純資産）

純資産合計は利益剰余金が163百万円減少したことなどにより3,376百万円（前事業年度末比163百万円減）となった。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2020年11月11日の2021年3月期第2四半期決算短信で公表した予想を変更しない。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示するものとする。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	755	924
受取手形	310	263
売掛金	1,215	978
製品	785	795
仕掛品	154	83
原材料及び貯蔵品	312	434
未収入金	36	6
その他	20	19
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	3,589	3,502
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,067	2,077
減価償却累計額	△1,707	△1,735
建物(純額)	359	341
構築物	785	783
減価償却累計額	△611	△623
構築物(純額)	174	159
機械及び装置	1,532	1,453
減価償却累計額	△1,424	△1,341
機械及び装置(純額)	107	111
貸与資産	7,614	7,819
減価償却累計額	△6,885	△6,967
貸与資産(純額)	729	852
車両運搬具	62	60
減価償却累計額	△57	△55
車両運搬具(純額)	5	4
工具、器具及び備品	288	301
減価償却累計額	△239	△252
工具、器具及び備品(純額)	48	48
土地	3,070	3,070
リース資産	48	109
減価償却累計額	△31	△36
リース資産(純額)	17	73
有形固定資産合計	4,511	4,662
無形固定資産	23	31
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	103	125
その他	281	297
貸倒引当金	△3	△13
投資その他の資産合計	381	410
固定資産合計	4,917	5,103
資産合計	8,507	8,606

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	583	716
買掛金	619	837
短期借入金	900	1,400
1年内返済予定の長期借入金	643	615
未払法人税等	7	5
賞与引当金	20	—
役員賞与引当金	30	6
その他	232	220
流動負債合計	3,037	3,800
固定負債		
長期借入金	1,645	1,191
退職給付引当金	142	126
長期未払金	85	1
その他	57	110
固定負債合計	1,930	1,429
負債合計	4,968	5,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	508	508
資本剰余金	758	758
利益剰余金	2,300	2,137
自己株式	△27	△27
株主資本合計	3,539	3,376
純資産合計	3,539	3,376
負債純資産合計	8,507	8,606

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	5,353	6,193
売上原価	4,594	5,651
売上総利益	759	541
販売費及び一般管理費	697	635
営業利益	61	△93
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
受取地代家賃	3	3
支店移転補償金	3	—
雑収入	2	3
営業外収益合計	8	7
営業外費用		
支払利息	11	9
雑支出	3	1
営業外費用合計	14	10
経常利益	55	△96
特別利益		
固定資産売却益	61	0
特別利益合計	61	0
特別損失		
営業所閉鎖損失	4	—
訴訟関連損失	—	22
その他	4	—
特別損失合計	8	22
税引前四半期純利益	107	△118
法人税、住民税及び事業税	45	8
法人税等調整額	17	△22
法人税等合計	62	△14
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45	△104

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社の有形固定資産の減価償却方法は主として定率法を採用していたが、第1四半期会計期間より定額法に変更している。

この変更は、2020年度の設備投資計画を契機として有形固定資産の使用実態を検討した結果、今後は各設備の稼働状況が安定的に推移すると見込まれるため、定額法による減価償却を行うことが当社の事業の実態をより適切に反映するものと判断した。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ71百万円減少している。